

令和6年12月19日

交通事故概況

令和6年11月末計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況(11月末計上数(確定数))

1 令和6年11月末の交通事故発生状況

区分\内容	11月中		11月末	
		前年比		前年比
発生件数(件)	764	-121	7,907	-241
死者数(人)	6	-9	91	-28
傷者数(人)	857	-160	9,307	-173

[過去10年、11月中11月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
11月中死者	16	17	22	15	15	15	11	15	13	15	15	14	6
11月末死者	160	168	144	137	129	140	126	110	109	119	134	121	91
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別(11月中)

順位	1	3	5	16
都道府県名	東京 静岡	千葉 埼玉	愛知 大阪 兵庫	北海道
死者数	14	13	11	6

都道府県別(11月末)

順位	1	2	3	4	5	8
都道府県名	東京	愛知	千葉	大阪	兵庫 埼玉	北海道
死者数	130	126	121	108	97	91

(1) 11月中の死亡事故(死者6人)

- 事故類型別：人対車両が4人(66.7%)
- 道路別：国道、道道が各々3人(50.0%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が3人(50.0%)、非市街地直線が2人(33.3%)
- 発生時間別：16～18時が2人(33.3%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：30歳代運転者、50歳代運転者が各々2人(33.3%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：歩行者妨害が2人(33.3%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が2人(33.3%)

(2) 11月末の死亡事故(死者91人)

- 事故類型別：
 - ・ 人対車両が32人35.2%(うち前方不注意が12人37.5%、歩行者妨害が5人15.6%)
 - ・ 車両単独が26人28.6%(うち前方不注意が11人42.3%、操作不適が5人19.2%)
 - ・ 正面衝突が17人18.7%(うち前方不注意が7人41.2%、過労運転によるもの、操作不適が各々3人17.6%)
- 道路別：
 - ・ 国道が34人37.4%(うち人対車両が10人29.4%、車両単独が9人26.5%)
 - ・ 道道が27人29.7%(うち人対車両が11人40.7%、車両単独が7人25.9%)
 - ・ 市町村道20人22.0%(うち人対車両が10人50.0%、車両単独が5人25.0%)
- 地形・道路形状別：
 - ・ 市街地交差点が30人33.0%(うち前方不注意が6人20.0%、歩行者妨害、信号無視が各々5人16.7%)
 - ・ 非市街地直線が22人24.2%(うち前方不注意が10人45.5%、最高速度、操作不適が各々3人13.6%)
- 発生時間別：
 - ・ 12～14時が13人14.3%(うち車両単独が6人46.2%、正面衝突が4人30.8%)
 - ・ 8～10時が12人13.2%(うち車両単独が6人50.0%、人対車両、出会い頭が各々3人25.0%)
 - ・ 10～12時が12人13.2%(うち正面衝突、車両単独が各々4人33.3%)
 - ・ 14～16時が12人13.2%(うち車両単独が5人41.7%、人対車両が4人33.3%)
- 第一当事者年齢別(1当原付以上)：
 - ・ 高齢運転者による死者が34人37.4%(うち車両単独が16人47.1%、人対車両が8人23.5%)
 - ・ 50歳代運転者による死者が15人16.5%(うち人対車両、車両単独が各々4人26.7%)
- 第一当事者違反別(1当原付以上)：
 - ・ 前方不注意が33人36.3%(うち人対車両が12人36.4%、車両単独が11人33.3%)
 - ・ 最高速度が9人9.9%(人対車両、車両単独が各々3人33.3%)
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が51人56.0%(うち人対車両が22人43.1%、車両単独17人33.3%)
 - ・ 50歳代の死者が14人15.4%(うち車両単独が4人28.6%、人対車両が3人21.4%)
- シートベルト非着用者：

自動車(二輪を除く)乗車中の死者43人中、シートベルト非着用者は14人(32.6%)であり、うち7人(50.0%)は、シートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

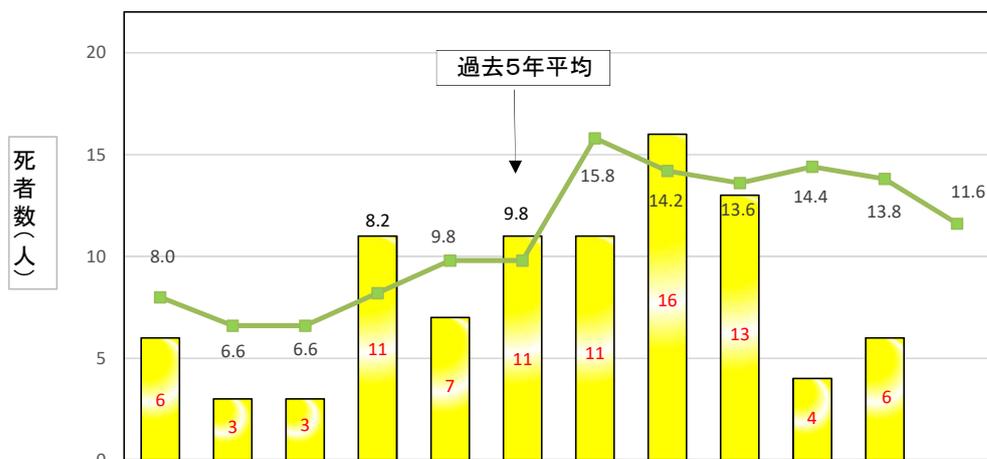
(3) 方面別発生状況

11月中の死者数は、札幌方面が3人(50.0%)、釧路方面が2人(33.3%)、旭川方面が1人(16.7%)となっている。
 11月末の死者数は、札幌方面が47人(51.6%)、釧路方面が19人(20.9%)、旭川方面が14人(15.4%)、北見方面が7人(7.7%)、函館方面が4人(4.4%)となっている。

方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数		方面別\区分	発生件数		死者数		傷者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
11月中	全道	764	-121	6	-9	857	-160	11月末	全道	7,907	-241	91	-28	9,307	-173
	札幌方面	569	-74	3	-5	639	-114		札幌方面	5,835	-168	47	-12	6,898	-83
	函館方面	50	2		-2	59	9		函館方面	493	-12	4	-8	600	1
	旭川方面	64	-14	1	-1	73	-11		旭川方面	671	44	14	-3	787	58
	釧路方面	54	-37	2	1	55	-46		釧路方面	704	-83	19	-2	775	-120
	北見方面	27	2		-2	31	2		北見方面	204	-22	7	-3	247	-29

(4) 月別発生状況の推移

11月中の死者数は6人で過去5年平均 13.8人を下回っている。
 11月末の死者数は91人で過去5年平均120.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11	7	11	11	16	13	4	6		91
年間累計	6	9	12	23	30	41	52	68	81	85	91		
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

11月中は東京都、静岡県が14人で最も多く、次いで千葉県、埼玉県が13人、愛知県、大阪府、兵庫県が各々11人、北海道は6人で16位となっている。

11月末は東京都が130人で最も多く、次いで愛知県が126人、千葉県が121人、大阪府が108人、兵庫県、埼玉県が各々97人、北海道は91人で8位となっている。

区分\都道府県	東京	静岡	千葉	埼玉	愛知	大阪	兵庫	茨城	岐阜	広島	全国	北海道
11月中死者数	14	14	13	13	11	11	11	10	10	9	248	6
ワースト順位	1	1	3	3	5	5	5	8	8	10	-	16
前年比	0	12	-2	-2	0	-7	-2	4	7	3	-6	-9
増減率(%)	0.0	600.0	-13.3	-13.3	0.0	-38.9	-15.4	66.7	233.3	50.0	-2.4	-60.0

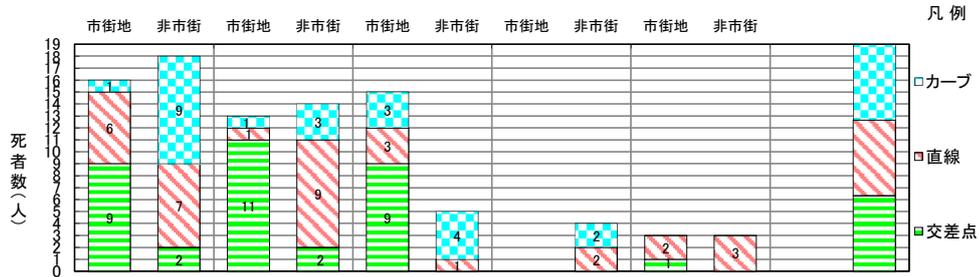
区分\都道府県	東京	愛知	千葉	大阪	兵庫	埼玉	神奈川	北海道	茨城	福岡	全国
11月末死者数	130	126	121	108	97	97	96	91	86	83	2,376
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	8	9	10	-
前年比	13	-8	10	-27	6	-10	-8	-28	1	-4	-2
増減率(%)	11.1	-6.0	9.0	-20.0	6.6	-9.3	-7.7	-23.5	1.2	-4.6	-0.1

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が34人(37.4%)、道道が27人(29.7%)、市町村道が20人(22.0%)となっている。

- ・ 国道は市街地交差点、非市街地カーブが各々9人(26.5%)
- ・ 道道は市街地交差点が11人(40.7%)、非市街地直線が9人(33.3%)
- ・ 市町村道は、市街地交差点が9人(45.0%)、非市街地カーブが4人(20.0%)

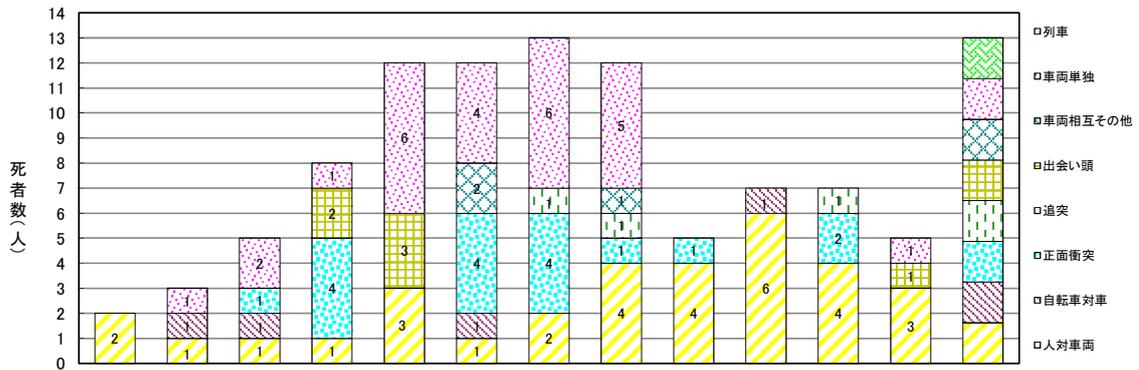


区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	34	27	20	4	6	91
構成率(%)	37.4	29.7	22.0	4.4	6.6	100.0
過去5年構成率	39.6	23.4	29.4	2.0	5.6	100.0

(2) 時間別

12時～14時が13人(14.3%)、8～10時、10～12時、14～16時が各々12人(13.2%)となっている。

- ・ 12～14時は車両単独が6人(46.2%)、正面衝突が4人(30.8%)
- ・ 8～10時は車両単独が6人(50.0%)、人対車両、出会い頭が各々3人(25.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突、車両単独が各々4人(33.3%)
- ・ 14～16時は車両単独が5人(41.7%)、人対車両が4人(33.3%)

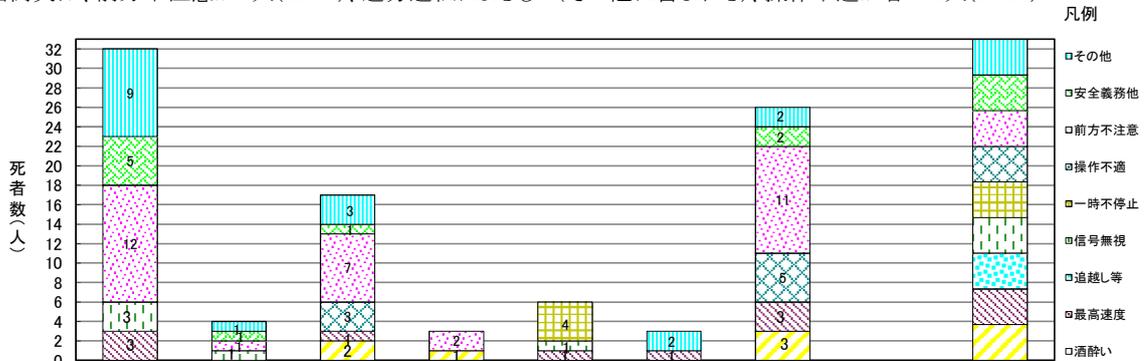


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死者数	2	3	5	8	12	12	13	12	5	7	7	5	91
構成率(%)	2.2	3.3	5.5	8.8	13.2	13.2	14.3	13.2	5.5	7.7	7.7	5.5	100.0
過去5年構成率	3.8	2.7	4.3	6.8	10.6	14.4	13.0	13.5	10.8	8.6	6.5	4.9	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が32人(35.2%)、車両単独が26人(28.6%)、正面衝突が17人(18.7%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が12人(37.5%)、歩行者妨害(その他に含まれる)が5人(15.6%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が11人(42.3%)、操作不適が5人(19.2%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が7人(41.2%)、過労運転によるもの(その他に含まれる)、操作不適が各々3人(17.6%)



区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	32	4	17	3	6	3	26	91	
構成率(%)	35.2	4.4	18.7	3.3	6.6	3.3	28.6	100.0	
過去5年構成率	30.1	5.8	18.0	2.3	8.6	3.4	31.4	100.0	

(4) 第一当事者の年齢層別（第1当原付以上）

高齢運転者による死者が34人(37.4%)、50歳代運転者による死者が15人(16.5%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が16人(47.1%)、人対車両が8人(23.5%)
- ・50歳代運転者は、人対車両、車両単独が各々4人(26.7%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	8	4	11	9	15	7	34	14	9	11	3	91
構成率(%)	8.8	4.4	12.1	9.9	16.5	7.7	37.4	15.4	9.9	12.1	3.3	100.0
過去5年構成率	9.5	3.6	8.1	16.8	14.4	8.6	33.7	10.1	9.2	14.4	5.2	100.0

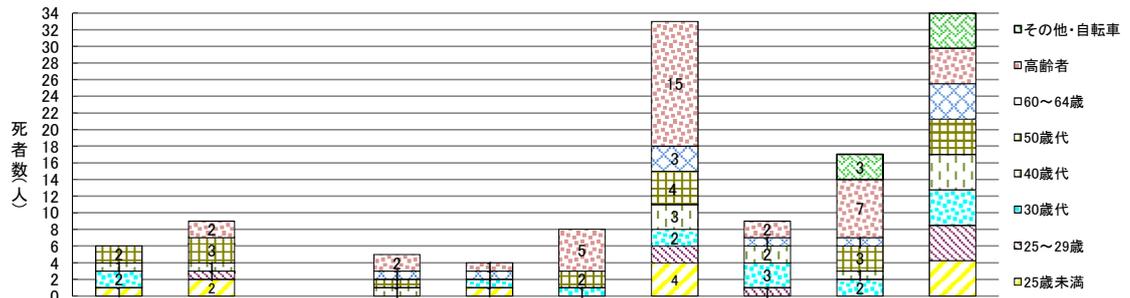
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反(原因)別（第1当原付以上）

前方不注意によるものが33人(36.3%)、次いで最高速度が9人(9.9%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者が15人(45.5%)、若年運転者(25歳未満)、50歳代運転者による死者が各々4人(12.1%)
- ・最高速度は、50歳代運転者が3人(33.3%)、若年運転者(25歳未満)、高齢運転者による死者が各々2人(22.2%)

凡例



区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数	6	9		5	4	8	33	9	17	91
構成率(%)	6.6	9.9		5.5	4.4	8.8	36.3	9.9	18.7	100.0
過去5年構成率		2.0	12.1	7.4	4.1	1.4	9.5	36.0	27.4	100.0

注 「その他」に1当自転車、歩行者を含を含む。

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が30人(33.0%)、次いで非市街地直線が22人(24.2%)となっている。

- ・市街地交差点は、人対車両が19人(63.3%)、出会い頭、車両単独が各々3人(10.0%)
- ・非市街地直線は、車両単独が8人(36.4%)、正面衝突が7人(31.8%)

凡例



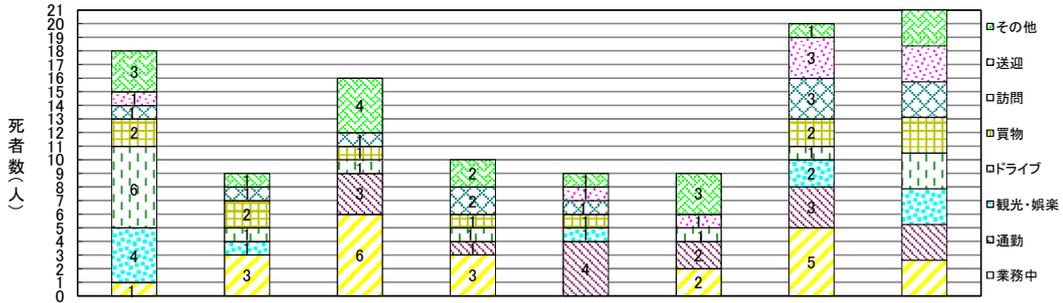
地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	30	12	5	47	4	22	18	44	91
構成率(%)	33.0	13.2	5.5	51.6	4.4	24.2	19.8	48.4	100.0
過去5年構成率	33.0	14.1	4.3	51.4	6.3	22.2	20.2	48.6	100.0

(7) 曜日別

土曜日が20人(22.0%)、次いで日曜日が18人(19.8%)となっている。

- ・土曜日は、業務中が5人(25.0%)、通勤、訪問、送迎が各々3人(15.0%)
- ・日曜日は、ドライブが6人(33.3%)、観光・娯楽が4人(22.2%)

凡例



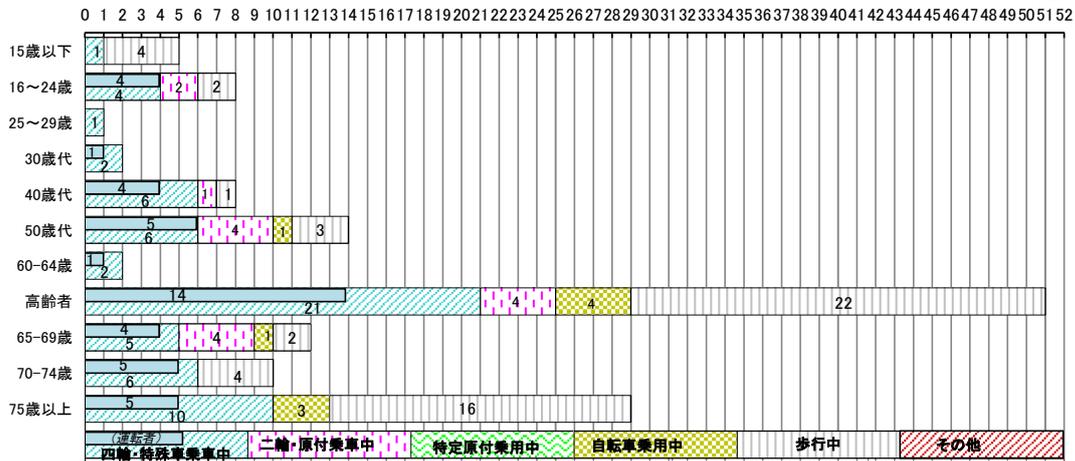
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	18	9	16	10	9	9	20	91
構成率 (%)	19.8	9.9	17.6	11.0	9.9	9.9	22.0	100.0
過去5年構成率	19.3	13.3	14.6	12.4	13.7	12.4	14.2	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が51人(56.0%)、次いで50歳代が14人(15.4%)となっている。

四輪乗車中の死者数が43人(47.3%)、次いで歩行中の死者数が32人(35.2%)となっている。

死者数(人)



状態別 年齢層別		四輪 乗車中 (特殊車を含む)	二輪 乗車中 (一般原付を含む)	特定原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
									%	%
15歳以下	死者数	1	4	0	0	0	0	5	5.5	2.3
16~24歳	死者数	4	2	0	0	2	0	8	8.8	7.2
25~29歳	死者数	1	0	0	0	0	0	1	1.1	2.5
30歳代	死者数	2	0	0	0	0	0	2	2.2	5.2
40歳代	死者数	6	1	0	0	1	0	8	8.8	9.5
50歳代	死者数	6	4	0	1	3	0	14	15.4	12.8
60~64歳	死者数	2	0	0	0	0	0	2	2.2	6.7
高齢者	死者数	21	4	0	4	22	0	51	56.0	53.7
65~69歳	死者数	5	4	0	1	2	0	12	13.2	9.4
70~74歳	死者数	6	0	0	0	4	0	10	11.0	11.5
75歳以上	死者数	10	0	0	3	16	0	29	31.9	32.8
計	死者数	43	11	0	5	32	0	91	100.0	—
	構成率	47.3	12.1	0.0	5.5	35.2	0.0	100.0	—	—
	過去5年構成率	47.0	15.0	0.0	7.2	30.5	0.4	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者43人中、シートベルト非着用者は14人(32.6%)となっている。

非着用者のうち7人(50.0%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用			非着用			着用不明				
		計	運転者	同乗者(助手席/後部席)	計	運転者(生存可)	同乗者(助手席/後部席)(生存可)					
令和6年	43	29	19	7	3	14	11	4	1	1	2	2
構成率(%)	100.0	67.4	65.5	24.1	10.3	32.6	78.6	36.4	7.1	100.0	14.3	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(42.9%)、40歳代、50歳代が各々3人(21.4%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ベルト着用	4	1	1	3	3	2	15	4	6	5		29
構成率(%)	13.8	3.4	3.4	10.3	10.3	6.9	51.7	13.8	20.7	17.2		100.0
ベルト非着用	1		1	3	3		6	1		5		14
構成率(%)	7.1		7.1	21.4	21.4		42.9	7.1		35.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者14人の損傷加害部位をみるとハンドル、天井、座席が各々2人(14.3%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ベルト着用		1	2	1		1	2	2	3	9	6	2	29
構成率(%)		3.4	6.9	3.4		3.4	6.9	6.9	10.3	31.0	20.7	6.9	100.0
ベルト非着用	1		2	1			1	2	2	1		4	14
構成率(%)	7.1		14.3	7.1			7.1	14.3	14.3	7.1		28.6	100.0
運転者	1		2	1				2		1		4	11
構成率(%)	7.1		14.3	7.1				14.3		7.1		28.6	78.6
同乗者							1		2				3
構成率(%)							7.1		14.3				21.4

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。

4 冬型交通死亡事故の発生状況(計上月基準)

冬型事故の令和5年度及び6年度(ここでは令和5年11月～令和6年11月)の計上は次のとおり。

年度区分		死者数					計
		11月	12月	1月	2月	3月	
令和6年度	死亡事故	6					6
	冬型事故	1					1
	スリップ	1					1
	視界不良						
	わだち						
令和5年度	死亡事故	15	12	6	3	3	39
	冬型事故	3	1	2	1		7
	スリップ	3	1		1		5
	視界不良			2			2
	わだち						
	その他						